

○小田原市再生可能エネルギー事業奨励金交付要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、小田原市再生可能エネルギーの利用等の促進に関する条例（平成26年小田原市条例第21号。以下「条例」という。）第1条に規定する目的を達成するため、市内で実施される再生可能エネルギー事業及び市民参加型再生可能エネルギー事業に対し、小田原市再生可能エネルギーの利用等の促進に関する条例施行規則（平成26年小田原市規則第5号）第3条及び第9条の規定に基づき、予算の範囲内において奨励金を交付することについて、小田原市補助金の交付等に関する規則（昭和56年小田原市規則第2号。以下「規則」という。）に規定するもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱における用語の意義は、条例において使用する用語の例によるほか、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 自家消費型再生可能エネルギー発電設備 太陽光、風力、水力、地熱又はバイオマスを変換する設備及びその附属設備（認定発電設備を除く。）をいう。
- (2) 再生可能エネルギー熱利用設備 太陽熱、大気中の熱その他自然界に存する熱又はバイオマスから熱を得るための設備及びその附属設備をいう。

(奨励金の種類等)

第3条 奨励金の種類、交付の目的、交付対象者、交付対象事業、交付金額及び奨励金を受け取ることのできる期間は、別表に定めるとおりとする。

2 この要綱に規定する奨励金は、本市の市税に滞納がある者に交付しない。

3 交付を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当する場合は、交付の対象としない。

- (1) 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。）
- (2) 法人にあっては、役員のうち暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員をいう。）に該当する者

があるもの

(3) 法人でない団体にあつては、団体の代表者が暴力団員に該当するもの

(4) 個人にあつては、暴力団員に該当するもの

5 市長は、交付を受けようとする者の同意を得た上で、神奈川県警察本部長に対し、その者の情報を提供し、前項の各号に規定するもののいずれかに該当するか否かを確認するものとする。

6 ゼロカーボン推進課長は、交付を受けようとする者の同意を得た上で、資産税課長に対し、その者から提出された情報を提供し、当該認定発電設備、自家消費型再生可能エネルギー発電設備及び再生可能エネルギー熱利用設備（以下「認定発電設備等」という。）並びに当該土地の固定資産税額を確認するものとする。

（交付の申請等）

第4条 規則第4条第1項に規定する交付申請書の様式、提出期限並びに同条第2項及び第3項に規定する申請書に添付を要する書類は、別表に定めるとおりとする。

2 この要綱に規定する奨励金の交付を受けようとする再生可能エネルギー事業が次に掲げる補助を受けた事業である場合は、奨励金の交付の対象外とする。

(1) 小田原市地球温暖化対策推進事業費補助金

(2) 小田原市重点対策加速化事業補助金

(3) 小田原市重点対策加速化事業補助金（市役所脱炭素化推進事業分）

3 市長は、規則第5条第1項の規定により交付の決定をしたときは、申請者に小田原市再生可能エネルギー事業奨励金交付決定通知書（様式第5号）を交付するものとする。

（申請の取下げ）

第5条 規則第8条第1項に規定する別に定める期日とは、奨励金交付決定通知書を受領した日から30日を経過する日までとする。

（変更等の承認）

第6条 交付の決定を受けた者は、交付対象事業の内容を変更しようとする場合は、小田原市再生可能エネルギー事業奨励金変更承認申請書（様式第6号）に、当該変更等の内容を証する書類を添えて市長に提出し承認を受けなければなら

ない。ただし、次に掲げる軽微な変更をしようとする場合は、この限りではない。

- (1) 役員の変更
- (2) 事業所の所在地の変更（市外への移転を除く。）
- (3) 連絡先の変更
- (4) その他市長が軽微な変更と認める事項

2 市長は、前項の規定に基づく承認をしたときは、申請者に小田原市再生可能エネルギー事業奨励金変更承認通知書（様式第7号）を交付するものとする。

3 交付の決定を受けた者は、第1項ただし書に規定する軽微な変更をしたときは、遅滞なく、その旨を市長に届け出なければならない。

4 前項に規定する届出は、軽微な変更届（様式第8号）により行うものとする。

（交付の決定の取消し）

第7条 市長は、規則第9条第3項及び第16条第4項の規定により交付の決定を取消したときは、申請者に小田原市再生可能エネルギー事業奨励金取消通知書（様式第9号）を交付するものとする。

（実績報告）

第8条 規則第13条の規定による実績報告をしようとする者は、小田原市再生可能エネルギー事業奨励金実績報告書（様式第10号）に、別表に規定する添付書類を添えて市長に提出しなければならない。

（財産の処分の制限）

第9条 規則第18条ただし書きに規定する市長が別に定める期間並びに同条第2号及び第3号に規定する市長が定める財産の種類は、別表のとおりとする。

（報告等）

第10条 市長は、この要綱の施行に必要な限度において、交付の決定を受けた者に対し、報告又は資料の提出を求めることができる。

（奨励金の返還）

第11条 市長は、交付の決定を受けた者が次に掲げる要件に該当したときは、奨励金の全部又は一部を返還させることができる。

- (1) 偽りその他不正な手段により奨励金の交付を受けたとき。
- (2) 第3条第4項各号のいずれかに該当したとき。

(3) 規則及びこの要綱に違反したとき。

(書類の整備保管)

第12条 奨励金の交付を受けた者は、交付対象となった事業に係る書類を整備保管しておかなければならない。

(実施細則)

第13条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の実施に関して必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

別表（第3条、第4条、第8条、第9条関係）

1 再生可能エネルギー事業奨励金

奨励金交付の目的	再生可能エネルギー事業を実施する事業者に対して奨励金を交付することにより、事業者の再生可能エネルギーの利用を促進することを目的とする。
交付対象者	市内に事業所を有し、当該事業所で事業を営む事業者であり、本市の償却資産課税台帳に当該再生可能エネルギー事業の認定発電設備等の所有者として登録されている者又はその相続人。ただし、第3条第2項又は第4項各号のいずれかに該当する者を除く。
交付対象事業	次に掲げる要件を全て満たす認定発電設備等により実施される再生可能エネルギー事業とする。 1 認定発電設備等が市内にあること。 2 設備区分ごとに以下の要件を満たすこと。 (1) 認定発電設備 ア 市内に取得された認定発電設備であること。 イ 本市の償却資産課税台帳に登録された認定発電設備であること。

	<p>(2) 自家消費型再生可能エネルギー発電設備</p> <p>ア 専ら市内で電気を消費するために用いられるものであること。</p> <p>イ 市内に新たに取得された自家消費型再生可能エネルギー発電設備であること。</p> <p>ウ 本市の償却資産課税台帳に登録された自家消費型再生可能エネルギー発電設備であること。</p> <p>(3) 再生可能エネルギー熱利用設備</p> <p>ア 専ら市内で熱を消費するために用いられるものであること。</p> <p>イ 市内に新たに取得された再生可能エネルギー熱利用設備であること。</p> <p>ウ 本市の償却資産課税台帳に登録された再生可能エネルギー熱利用設備であること。</p>
<p>交付金額</p>	<p>交付申請のあった日の属する年度に当該認定発電設備等に課された固定資産税相当額（過年度分の固定資産税を除く。）とする。</p> <p>認定発電設備のうち太陽光発電設備（平成28年3月31日までに取得された太陽光発電設備にあつては、10kW未満のものに限る。）により実施される再生可能エネルギー事業については、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第9条第4項に規定する経済産業大臣の認定を受けた設備に係る固定資産税相当額を交付金額とする。</p>
<p>交付対象期間</p>	<p>認定発電設備等により実施される再生可能エネルギー事業については、当該認定発電設備等に対して新たに固定資産税が課されるべき年度から起算して3年度とする。</p> <p>ただし、10kW未満の認定発電設備のうち、太陽光発電設備により実施される再生可能エネルギー事業については、当</p>

		該認定発電設備に対して新たに固定資産税が課されるべき年度とする。
交付申請書	様式	1回目：様式第1号その1 2回目以降：様式第1号その2
	提出期限	交付申請をする日の属する年度の2月末日までとする。
	添付書類	<p>1回目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 認定発電設備等の概要書（様式第2号） 2 （法人の場合）登記事項証明書 3 （法人でない場合）事業者であることを証する書類の写し（法人でない場合）申請者の身分証明書の写し 4 役員等氏名一覧表（様式第4号） 5 認定発電設備等の概要がわかる書類 6 （認定発電設備による再生可能エネルギー事業の場合） 認定通知書の写し 7 （認定発電設備による再生可能エネルギー事業の場合） 電気事業者との特定契約を締結したことを証する書類の写し 8 認定発電設備等の設置後の写真 <ol style="list-style-type: none"> (1) 認定発電設備等の全景 (2) 発電設備又は熱利用設備 (3) 附属設備（変電設備、制御装置及び配管等。自家消費型再生可能エネルギー発電設備にあつては蓄電設備も含む。） 9 認定発電設備等を償却資産として申告していることがわかる書類の写し 10 その他市長が必要と認める書類 <p>2回目以降</p>

		<ol style="list-style-type: none"> 1 認定発電設備等の概要書（様式第2号） 2 （法人の場合）登記事項証明書 3 （法人でない場合）事業者であることを証する書類の写し（法人でない場合）申請者の身分証明書の写し 4 役員等氏名一覧表（様式第4号） 5 （法人の場合）認定発電設備等を償却資産として申告をしていることがわかる書類の写し 6 その他市長が必要と認める書類
奨励金交付決定通知書 様式		様式第5号
交付決定通知書の交付 時期		交付申請書類收受後、おおむね1か月
実績報告書	様式	様式第10号
	添付書類	<ol style="list-style-type: none"> 1 申請者に実績報告日現在で小田原市税に係る滞納が無いことを証する書類。（完納証明書など） 2 申請日の属する年度に課された固定資産税の年税額が全額納付されたことを証する書類（納税証明書など） <p>※ただし、「1」の書類が申請日の属する年度に課された固定資産税の第4期の納期限の翌日以降に取得したものであるときは、「2」の書類の添付を省略することができる。</p>
	提出期限	申請した年度に認定発電設備等に課された固定資産税の完納後、当該年度の3月末日までとする。
奨励金の交付の時期		実績報告書の收受後、1か月以内
財産処分等の制限		交付対象事業の再生可能エネルギー事業の認定発電設備等については、設置完了日から起算して10年間、所有し、使用しなければならない。

2 市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金（認定発電設備等）

奨励金交付の目的	市民参加型再生可能エネルギー事業の認定を受けた者に対
----------	----------------------------

	<p>して奨励金を交付することにより、市民参加型の再生可能エネルギーの利用を促進することを目的とする。</p>
交付対象者	<p>市民参加型再生可能エネルギー事業の認定を受けた者であり、かつ、本市の償却資産課税台帳に認定発電設備等の所有者として登録されている者。ただし、第3条第2項又は第4項各号のいずれかに該当する者を除く。</p>
交付対象事業	<p>次に掲げる要件を全て満たす認定発電設備等により実施される市民参加型再生可能エネルギー事業の認定を受けた事業とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 認定発電設備等が市内にあること。 2 設備区分ごとに以下の要件を満たすこと。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 認定発電設備 <ol style="list-style-type: none"> ア 市内に取得された認定発電設備であること。 イ 本市の償却資産課税台帳に登録された認定発電設備であること。 (2) 自家消費型再生可能エネルギー発電設備 <ol style="list-style-type: none"> ア 専ら市内で電気を消費するために用いられるものであること。 イ 市内に新たに取得された自家消費型再生可能エネルギー発電設備であること。 ウ 本市の償却資産課税台帳に登録された自家消費型再生可能エネルギー発電設備であること。 (3) 再生可能エネルギー熱利用設備 <ol style="list-style-type: none"> ア 専ら市内で熱を消費するために用いられるものであること。 イ 市内に新たに取得された再生可能エネルギー熱利用設備であること。 ウ 本市の償却資産課税台帳に登録された再生可能エネルギー熱利用設備であること。

<p>交付金額</p>	<p>交付申請のあった日の属する年度に当該認定発電設備等に課された固定資産税相当額（過年度分の固定資産税を除く。）とする。</p> <p>10kW未満の認定発電設備により実施される市民参加型再生可能エネルギー事業については、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法第9条第4項に規定する経済産業大臣の認定を受けた設備に係る固定資産税相当額を交付金額とする。</p>	
<p>交付対象期間</p>	<p>認定発電設備等により実施される市民参加型再生可能エネルギー事業については、当該認定発電設備等に対して新たに固定資産税が課されるべき年度から起算して、5年度とする。</p> <p>ただし、10kW未満の認定発電設備のうち太陽光発電設備により実施される市民参加型再生可能エネルギー事業については、当該認定発電設備に対して新たに固定資産税が課されるべき年度から起算して、3年度とする。</p>	
<p>交付申請書</p>	<p>様式</p>	<p>1回目：様式第1号その1 2回目以降：様式第1号その2</p>
	<p>提出期限</p>	<p>交付申請をする日の属する年度の2月末日までとする。</p>
	<p>添付書類</p>	<p>1回目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市民参加型再生可能エネルギー事業認定申請書類の写し 2 市民参加型再生可能エネルギー事業認定通知書の写し 3 （法人の場合）登記事項証明書（法人でない場合）申請者の身分証明書の写し 4 （法人でない団体の場合）団体の代表者の住民票の写し 5 役員等氏名一覧表（様式第4号） 6 認定発電設備等を償却資産として申告していることが

		<p>わかる書類の写し</p> <p>7 その他市長が必要と認める書類</p> <p>2 回目以降</p> <p>1 (法人の場合) 登記事項証明書 (法人でない場合) 申請者の身分証明書の写し</p> <p>2 (法人でない団体の場合) 団体の代表者の住民票の写し</p> <p>3 役員等氏名一覧表 (様式第 4 号)</p> <p>4 (法人の場合) 認定発電設備等を償却資産として申告をしていることがわかる書類の写し</p> <p>5 その他市長が必要と認める書類</p>
奨励金交付決定通知書 様式		様式第 5 号
交付決定通知書の交付 時期		交付申請書類收受後、おおむね 1 か月
実績報告書	様式	様式第 10 号
	添付書類	<p>1 申請者に実績報告日現在で小田原市税に係る滞納が無いことを証する書類。(完納証明書など)</p> <p>2 申請日の属する年度に課された固定資産税の年税額が全額納付されたことを証する書類 (納税証明書など)</p> <p>※ただし、「1」の書類が申請日の属する年度に課された固定資産税の第 4 期の納期限の翌日以降に取得したものであるときは、「2」の書類の添付を省略することができる。</p> <p>3 その他市長が必要と認める書類</p>
	提出期限	申請した年度に認定発電設備等に課された固定資産税の完納後、当該年度の 3 月末日までとする。
奨励金の交付の時期		実績報告書の收受後、1 か月以内
財産処分等の制限		交付対象事業の認定発電設備等については、設置完了日か

	ら起算して10年間、所有し、使用しなければならない。
--	----------------------------

3 市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金（土地）

奨励金交付の目的	市民参加型再生可能エネルギー事業の用に供する土地の所有者に対して奨励金を交付することにより、市民参加型の再生可能エネルギーの利用を促進することを目的とする。
交付対象者	本市の土地課税台帳に、当該市民参加型再生可能エネルギー事業を行う認定発電設備等の用に供する土地の所有者として登録されている者（当該土地が共有物である場合は、その共有者の中から代表者を選び、交付対象者をその代表者とする。）又はその相続人。 ただし、第3条第2項又は第4項各号のいずれかに該当する者を除く（共有物である土地の共有者のうちに該当する者がある場合も同様とする。）。
交付対象事業	次に掲げる要件を全て満たす土地とする。 1 市内の土地であること。 2 市街化調整区域内に所在する土地であること。 3 市内に取得された認定発電設備等に供する土地であること。 4 市民参加型再生可能エネルギー事業を行う認定発電設備等の用にのみ供する土地であること。
交付金額	交付申請のあった日の属する年度に当該土地に課された固定資産税相当額（過年度分の固定資産税を除く。）とする。 ただし、当該認定発電設備等の用にのみ供する土地の範囲を対象として、交付金額を算出する。
交付対象期間	当該認定発電設備等に対して新たに固定資産税が課されるべき年度から起算して、10年度とする。 ただし、当該土地の認定発電設備が10kW未満の太陽光発電設備の場合は、当該認定発電設備に対して新たに固定資産税が課されるべき年度から起算して、5年度とする。

交付申請書	様式	1回目：様式第1号その1 2回目以降：様式第1号その2
	提出期限	交付申請をする日の属する年度の2月末日までとする。
	添付書類	<p>1回目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 認定発電設備等の概要書（様式第2号） 2 （共有地がある場合）代表者選出届（様式第3号） 3 （法人の場合）登記事項証明書（法人でない場合）申請者の身分証明書の写し（共有地がある場合）土地所有者全員の身分証明書の写し 4 （法人でない団体の場合）団体の代表者の住民票の写し 5 （個人の場合）住民票の写し 6 役員等氏名一覧表（様式第4号） 7 土地を所有していることがわかる書類の写し 8 土地の使用状況がわかる書類（土地の形状及び面積、認定発電設備等の配置等がわかる図面等） 9 その他市長が必要と認める書類 <p>2回目以降</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 認定発電設備等の概要書（様式第2号） 2 （共有地がある場合）代表者選出届（様式第3号） 3 （法人の場合）登記事項証明書（法人でない場合）申請者の身分証明書の写し（共有地がある場合）土地所有者全員の身分証明書の写し 4 （法人でない団体の場合）団体の代表者の住民票の写し 5 （個人の場合）住民票の写し 6 役員等氏名一覧表（様式第4号） 7 その他市長が必要と認める書類
奨励金交付決定通知書	様式第5号	

様式		
交付決定通知書の交付 時期	交付申請書類收受後、おおむね1か月	
実績報告書	様式	様式第10号
	添付書類	<p>1 申請者（当該土地が共有物の場合は、土地所有者全員）に実績報告日現在で小田原市税に係る滞納が無いことを証する書類。（完納証明書など）</p> <p>2 申請日の属する年度に課された固定資産税の年税額が全額納付されたことを証する書類（納税証明書など）</p> <p>※ただし、「1」の書類が申請日の属する年度に課された固定資産税の第4期の納期限の翌日以降に取得したものであるときは、「2」の書類の添付を省略することができる。</p> <p>3 その他市長が必要と認める書類</p>
	提出期限	申請した年度に当該土地（共有物）に課された固定資産税の完納後、当該年度の3月末日までとする。
奨励金の交付の時期	実績報告書の收受後、1か月以内	
財産処分等の制限	交付対象事業の土地については、認定発電設備等の設置完了日から起算して10年間、その認定発電設備等の用にのみ使用し、所有しなければならない。	

様式第1号その1（第4条関係）

様式第1号その1（第4条関係） **1回目用**

小田原市再生可能エネルギー事業奨励金交付申請書

年 月 日

小田原市長 様

(申請者) 郵便番号 _____
住所・所在地 _____
ふりがな _____
氏名・名称 _____
電話番号 _____

小田原市再生可能エネルギー事業奨励金の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

なお、ゼロカーボン推進課が市税担当部署（市税総務課、資産税課）に申請書類に記載された情報を提供し、市税納付状況及び当該認定発電設備等、又は当該土地に課された固定資産税額を確認することに同意します。

1 奨励金の種類

再生可能エネルギー事業奨励金

（認定発電設備・自家消費型再生可能エネルギー発電設備・再生可能エネルギー熱利用設備）

市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金

（認定発電設備・自家消費型再生可能エネルギー発電設備・再生可能エネルギー熱利用設備）

市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金（土地）

2 事業の実施場所

小田原市 _____

3 再生可能エネルギー源

太陽光・風力・水力・地熱・太陽熱・大気中の熱その他自然界に存する熱・バイオマス

4 認定発電設備等の最大出力又は容量

_____ kW

- 5 (認定発電設備の場合) 電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法第9条第3項に基づく認定を受けた再生可能エネルギー発電事業計画の認定日及び設備ID
年 月 日 (設備ID)
- 6 再生可能エネルギー事業の開始日
年 月 日
- 7 (市民参加型再生可能エネルギー事業の場合) 当該認定日及び認定番号
年 月 日 第 号

様式第1号その2（第4条関係）

様式第1号その2（第4条関係）**2回目以降用**

小田原市再生可能エネルギー事業奨励金交付申請書

年 月 日

小田原市長 様

(申請者) 郵便番号 _____
住所・所在地 _____
ふりがな _____
氏名・名称 _____
電話番号 _____

小田原市再生可能エネルギー事業奨励金の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

なお、ゼロカーボン推進課が市税担当部署（市税総務課、資産税課）に申請書類に記載された情報を提供し、市税納付状況及び当該認定発電設備等、又は当該土地に課された固定資産税額を確認することに同意します。

1 奨励金の種類

- 再生可能エネルギー事業奨励金
(認定発電設備・自家消費型再生可能エネルギー発電設備・再生可能エネルギー熱利用設備)
- 市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金
(認定発電設備・自家消費型再生可能エネルギー発電設備・再生可能エネルギー熱利用設備)
- 市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金（土地）

2 事業の実施場所

小田原市 _____

3 再生可能エネルギー源

太陽光・風力・水力・地熱・太陽熱・大気中の熱その他自然界に存する熱・バイオマス

4 認定発電設備等の最大出力又は容量

_____ kW

- 5 (認定発電設備の場合) 電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法第9条第3項に基づく認定を受けた再生可能エネルギー発電事業計画の認定日及び設備ID
年 月 日 (設備ID)
- 6 再生可能エネルギー事業の開始日
年 月 日
- 7 (市民参加型再生可能エネルギー事業の場合) 当該認定日及び認定番号
年 月 日 第 号
- 8 奨励金交付対象期間
年度 ~ 年度

様式第2号（第4条関係）

様式第2号（第4条関係）

認定発電設備等の概要書

1. 認定発電設備等の設置場所

地番	土地面積（m ² ）

2. 認定発電設備等の経費^(※1)内訳（市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金(土地)の場合は記入不要。）

区分（※2）	取得価額	備考
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合計金額	円	

（※1）認定発電設備の経費とは、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法第9条第3項に規定する経済産業大臣の認定を受けた範囲の設備の経費とする。

（※2）10kW以上の認定発電設備については、地方税法（昭和25年法律第226号）附則第15条第32項に規定する課税標準の特例措置の適用を受けていること。ただし、平成28年4月1日以降に取得された認定発電設備のうち、太陽光発電設備についてはこの限りでない。

（※3）自家消費型再生可能エネルギー発電設備の経費は、発電設備のほか、制御装置、配管、直交変換装置等附属設備、蓄電設備の経費とする。

（※4）再生可能エネルギー熱利用設備の経費は、熱交換器、蓄熱機、制御装置や配管等附属設備の経費とする。

様式第3号（第4条関係）

様式第3号（第4条関係）

代表者選任届

代表者

住 所 _____

氏 名 _____

上記の者を様式第2号に記載された土地に対する市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金（土地）の交付対象者における代表者と定め、当該土地に対する奨励金の交付申請及び受領を当該代表者が行うこと並びにゼロカーボン推進課が市税担当部署（市税総務課、資産税課）に申請書類に記載された情報を提供し、当該土地の所有者全員の市税納付状況及び当該土地に課された固定資産税額を確認することに同意します。

年 月 日

小田原市長 様

土地所有者

事業を実施する区域の名称 (地番)	氏名	住所

様式第4号（第4条関係）

様式第4号（第4条関係）

役員等氏名一覧表

年 月 日現在

記載された全ての者は、代表者又は役員に暴力団員がいないことを確認するため、本様式に記載された情報を神奈川県警察本部に照会することについて、同意しております。

氏名・名称 _____

役職名	氏名	氏名のカナ	生年月日	性別 (男・女)	住所
			年 月 日		
			年 月 日		
			年 月 日		
			年 月 日		
			年 月 日		
			年 月 日		
			年 月 日		
			年 月 日		
			年 月 日		
			年 月 日		
			年 月 日		
			年 月 日		
			年 月 日		
			年 月 日		
			年 月 日		

様式第5号（第4条関係）

様式第5号（第4条関係）

小田原市再生可能エネルギー事業奨励金交付決定通知書

番 号

年 月 日

様

小田原市長

印

小田原市再生可能エネルギー事業奨励金について、次のとおり交付を決定したので、通知する。

1 奨励金の種類

再生可能エネルギー事業奨励金

（認定発電設備 ・ 自家消費型再生可能エネルギー発電設備 ・ 再生可能エネルギー熱利用設備）

市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金

（認定発電設備 ・ 自家消費型再生可能エネルギー発電設備 ・ 再生可能エネルギー熱利用設備）

市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金（土地）

2 申請年月日

年 月 日

3 交付決定額

円

4 交付対象事業

(1) 認定発電設備等の再生可能エネルギー源

太陽光 ・ 風力 ・ 水力 ・ 地熱 ・ 太陽熱 ・ 大気中の熱その他自然界に存する熱 ・ バイオマス

(2) 事業を実施する区域の名称

(3) （認定発電設備の場合）電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する

る特別措置法第9条第3項に基づく認定を受けた再生可能エネルギー発電事業計画
の認定日及び設備ID
年 月 日（設備ID ）

5 交付の条件

申請者（市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金（土地）にあつては、当該土地が
共有物の場合は土地所有者全員を含む。）に小田原市税に係る滞納がある場合には、本
奨励金は交付されないものであること。

（事務担当）

様式第6号（第6条関係）

様式第6号（第6条関係）

小田原市再生可能エネルギー事業奨励金変更承認申請書

年 月 日

小田原市長 様

(申請者) 郵便番号 _____
住所・所在地 _____
ふりがな _____
氏名・名称 _____
電話番号 _____

小田原市再生可能エネルギー事業奨励金の交付決定を受けた交付対象事業の変更の承認を受けた
いので、次のとおり申請します。

1 奨励金の種類

- 再生可能エネルギー事業奨励金
(認定発電設備 ・ 自家消費型再生可能エネルギー発電設備 ・ 再生可能エネルギー熱利用設備)
- 市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金
(認定発電設備 ・ 自家消費型再生可能エネルギー発電設備 ・ 再生可能エネルギー熱利用設備)
- 市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金 (土地)

2 交付決定日及び交付決定番号

年 月 日 第 号

3 変更の内容

変更前	
変更後	

4 変更の事由

様式第7号（第6条関係）

様式第7号（第6条関係）

小田原市再生可能エネルギー事業奨励金変更承認通知書

番 号

年 月 日

様

小田原市長

印

小田原市再生可能エネルギー事業奨励金の交付対象事業の内容の変更を次のとおり承認したので、通知する。

1 奨励金の種類

再生可能エネルギー事業奨励金

（認定発電設備・自家消費型再生可能エネルギー発電設備・再生可能エネルギー熱利用設備）

市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金

（認定発電設備・自家消費型再生可能エネルギー発電設備・再生可能エネルギー熱利用設備）

市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金（土地）

2 交付決定日及び交付決定番号

年 月 日 第 号

3 変更後の内容

様式第8号（第6条関係）

様式第8号（第6条関係）

軽微な変更届

年 月 日

小田原市長 様

(届出者) 郵便番号 _____
住所・所在地 _____
ふりがな _____
氏名・名称 _____
電話番号 _____

小田原市再生可能エネルギー事業奨励金の交付決定を受けた交付対象事業の内容の軽微な変更をしたので、次のとおり届け出ます。

1 奨励金の種類

- 再生可能エネルギー事業奨励金
(認定発電設備 ・ 自家消費型再生可能エネルギー発電設備 ・ 再生可能エネルギー熱利用設備)
- 市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金
(認定発電設備 ・ 自家消費型再生可能エネルギー発電設備 ・ 再生可能エネルギー熱利用設備)
- 市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金 (土地)

2 交付決定日及び交付決定番号

年 月 日 第 号

3 変更の内容

変更前	
変更後	

4 変更の事由

様式第9号（第7条関係）

様式第9号（第7条関係）

小田原市再生可能エネルギー事業奨励金取消通知書

番 号
年 月 日

様

小田原市長 印

次の小田原市再生可能エネルギー事業奨励金の交付決定を（一部）取り消す。

1 奨励金の種類

再生可能エネルギー事業奨励金

（認定発電設備・自家消費型再生可能エネルギー発電設備・再生可能エネルギー熱利用設備）

市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金

（認定発電設備・自家消費型再生可能エネルギー発電設備・再生可能エネルギー熱利用設備）

市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金（土地）

2 交付決定日及び交付決定番号

年 月 日 第 号

3 取消し金額

円

様式第10号（第8条関係）

様式第10号（第8条関係）

小田原市再生可能エネルギー事業奨励金実績報告書

年 月 日

小田原市長 様

(申請者) 郵便番号 _____
住所・所在地 _____
ふりがな _____
氏名・名称 _____
電話番号 _____

小田原市再生可能エネルギー事業奨励金の交付決定を受けた交付対象事業について、次のとおり報告します。

1 奨励金の種類

再生可能エネルギー事業奨励金

(認定発電設備 ・ 自家消費型再生可能エネルギー発電設備 ・ 再生可能エネルギー熱利用設備)

市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金

(認定発電設備 ・ 自家消費型再生可能エネルギー発電設備 ・ 再生可能エネルギー熱利用設備)

市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金（土地）

2 交付決定日及び交付決定番号

年 月 日 第 号

3 交付決定額

円

4 交付対象事業に課された分を含む今年度納付すべき固定資産税の納付完了日

年 月 日